



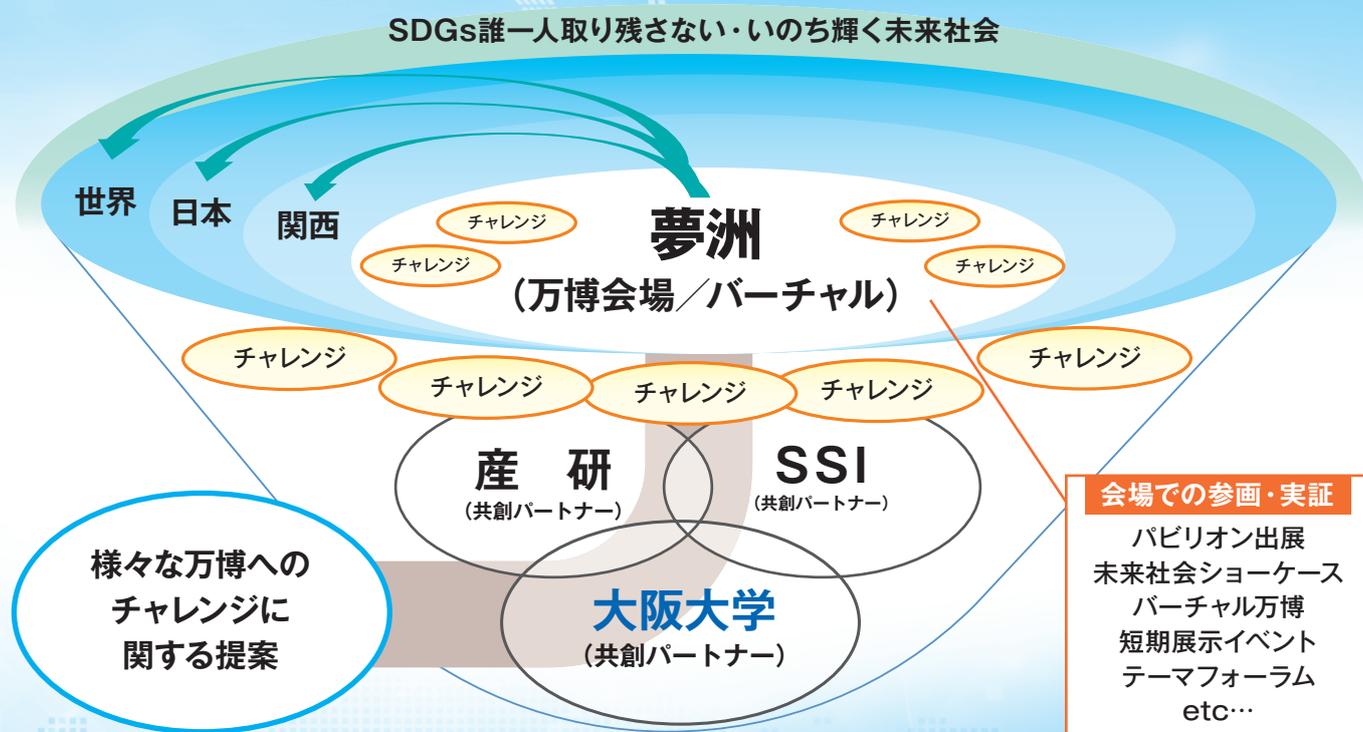
2025年の大阪・関西万博

TEAM
EXPO
2025

「いのち輝く未来社会のデザイン」に向けたチャレンジ実現を 大阪大学は3つの「共創パートナー」が応援します

TEAM EXPO2025 共創パートナーについて

2025年に開催される大阪・関西万博は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げ、具体的な未来可能性を世界に示す場となることが期待されています。社会との「共創」を目標とする大阪大学では、万博協会が展開する「TEAM EXPO 2025」のうち3つの「共創パートナー」=①国立大学法人 大阪大学、②大阪大学産業科学研究所、③大阪大学社会ソリューションイニシアティブ (SSI) に登録しています。学内外の皆様が考える「大阪大学をパートナーとした万博における共創」の支援に取り組み、学内の多くの研究室・組織などが「共創チャレンジ」に参加していただけるお手伝いも担っています。



3つの共創パートナーの特徴

国立大学法人 大阪大学

大学における中心的な共創パートナーとして、日本国際博覧会推進委員会(万博推進委員会)を立ち上げ、「いのち部会」・「先端技術体験部会」・「学生部会」・「国際部会」を設置しています。各部会とともに、多様な研究シーズを共創チャレンジに繋ぎ、支援する活動を行っています。

【ご相談分野】 全分野

人文社会科学/理工情報/医歯薬生命などの分野を問わず、万博に向けた「共創」の試みについてご相談をお寄せください。

大阪大学 産業科学研究所(産研)

産業のための科学を80年以上展開してきた産研は、「未来社会に必要な課題解決と未来を担う技術を繋ぐための共創プラットフォーム」形成を目指しています。材料、情報(AI)、生体、ナノテクノロジー分野の「未来技術」を未来社会に実装・発信することに取り組んでいます。

【ご相談分野】 理工系全般

材料、情報(AI)、生体、ナノテクノロジーなどの理工系分野を得意としています。また、幅広い「産学共創」も得意分野です。

大阪大学 社会ソリューション イニシアティブ (SSI)

SSIは、社会の様々なステークホルダーと持続可能な共生社会を目指す「場づくり」を行い、「プロジェクト」を推進しています。万博に向けてチーム作りを推進することにより、共創ネットワークを構築し、社会課題解決の理念と活動を世界に広める取り組みを行っています。

【ご相談分野】 文系全般

SDGsに関連した人間文化と社会をめぐるあらゆる社会課題の解決に向けた場づくりを推進するのが得意分野です。

問い合わせ先：各共創パートナー 担当者連絡先

大阪大学との2025年大阪・関西万博に向けた「共創」について、お気軽にお問合せください。

1. 国立大学法人 大阪大学（担当組織：大阪大学2025年日本国際博覧会推進室）

■ E-mail … ou-expo2025@ml.office.osaka-u.ac.jp

2. 大阪大学 産業科学研究所（担当組織：戦略室）

■ E-mail … air-office@sanken.osaka-u.ac.jp

3. 大阪大学 社会ソリューションイニシアティブ（略称：SSI）

■ E-mail … ssi@ml.office.osaka-u.ac.jp

大阪大学と関係のある共創チャレンジの例

- 「戦略的パートナーと目指す社会課題解決」（大阪大学2025国際博覧会推進委員会国際部会）
- 「新たな楽器インターフェースで世界をつなぐ」（eMotto株式会社）
- 「みんなで「たすかんねん」！ 地域資源の再発見と科学技術の共創で防災・減災！」
（防災見守り共同研究+SSI基幹PJT「地域資源とITによる減災・見守りシステムの構築」+RICCC）
- 「アプリを通じて、難治てんかんの患者とご家族のQOLを向上！」（nanacara project）
- その他、検討中のものも含めて多種多様な分野・組織の共創チャレンジに関する支援を行っています。

「2025年大阪・関西万博」に関する大阪大学の基本方針（抜粋・要約）

大阪大学は、社会変革をもたらすイノベーションを社会とともに共創することで、SDGsあるいは本万博においても掲げられている種々の社会課題の解決に貢献する。すなわち、SDGsあるいは本万博を、本学が目指す社会との共創の対象となる課題や目標を幅広い社会のステークホルダーと共有し、連携を深化、広域化する機会と位置づけ、これらへの協力を通じて社会との共創を推進する。また、本万博を契機として教育・研究の更なる発展、本学のプレゼンスの向上に取り組むこととする。

